



やなぎだ昌孝

市政報告

日本維新の会奈良市議団 所属

2022年 春号 vol.001

<https://m-yanagida.com>



奈良市議会の柳田昌孝は、昨夏の市議選で初当選をさせていただき、市議会9月定例会の一般質問、所属する会派「日本維新の会奈良市議団」を代表して12月定例会の代表質問に登壇し、歴史と文化資源を活かしたまちづくりや住みよい街の創造、七条地区に建設が計画されているグリーンセンターなど、多岐にわたる市政の課題について質問、提言・提案を行ってきました。市民の皆さまに私の議会活動をご報告いたします。

西ノ京地域 「利便性と歴史文化の景観両立を」

市議会
12月定例会

市、一部用途地域変更の考え



近鉄西ノ京駅からのバス通りは舗装が荒れていたため本年度に、地図の赤線部分の工事を行いました。また地図の黄色線部分についても、早ければ来年度に舗装工事を行う予定になっています。今後も、狭く交通量が多いこの道路の改善と改修を実現するため、市に対して要望、提案をしております。

会派を代表した代表質問に登壇し、地元、西ノ京地区のまちづくりについて、市の考えをたどりました。世界遺産に指定されている歴史的建造物の保存に注力していくのはもちろん、その一方で周辺住民の安全や快適な暮らし、道路交通の悪さ、土地利用の厳しい規制など、地域への負担は大きいと私は指摘。

質問では、景観と地域の利便性の両立を図っている京都市八坂神社前の事例を取り上げつつ、歴史保全と地域の利便性の両立のため、用途地域の変更など、市の規制緩和が必要ではないかと提案し、市の考えを問いました。市からは、西ノ京駅周辺の道路事情

については、十分認識をし、各所で道路の整備に取り組んでいる＝**地図参照**＝との答弁があり、駅周辺の整備に併せて、景観の保全に配慮した上で一部用途地域などの見直しを行い、生活の利便性や地域交流の促進を図っていくと考えを明らかにされました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

総合計画策定にSDGsの理念反映を

国連の2030年までに達成すべき目標「SDGs」について市がどのような取り組みを進めているのかを問いました。また市の将来ビジョンを描く「総合計画」にSDGsの理念を取り入れて策定していくことを提唱しました。

市からは「JR新駅周辺や新グリーンセンター周辺のまちづくりにおいても、SDGsの理念に沿って取り組むことで、行政や民間事業者、研究機関、地域住民など異なるステークホルダー間で課題解決に向けた共通認識を持つことが可能になり、連携協力の幅も広がる。総合計画とSDGsを一体的に推進していきたい」との答弁がありました。

私は、令和4年度の予算編成においても「誰一人取り残さない」というSDGsの考えの下、奈良市がその実現に向けて臨むよう要望しました。

市の観光資源や体験型観光紹介動画再生数増へ、さらなるPRの必要性指摘

市観光協会は YouTube で市内の魅力や観光資源、体験型観光を紹介する動画コンテンツ＝**写真**＝を発信しています。しかしながら再生回数は「多い」とは言えず、さらなるPRが必要と指摘。コロナ禍でのオンライン観光など、市の観光ビジョンを問いました。

市は、「コロナ禍の来訪は難しいが、オンラインツアーや伝統行事のライブ配信など、家にいながらも奈良観光を楽しんでいただき、奈良への来訪意欲を高める取り組みを行っている」と答弁。また指摘したコンテンツ

については、SNSを活用してより広く、細やかな情報発信を観光協会と共に進め、誘客につなげると説明がありました。

